

第1回例会 一般質問から



新政会
田村 勇

市立病院経営の抜本的な見直しについて

【質問】 平成30年度末の看護師の退職者が多いことから31年度に44床を休床するとの予定だが、再開条件・時期の見通しを伺う。また、市立病院経営計画は効果的なプログラムとなっているのか伺う。

【答弁】 31年4月から市立病院5階東病棟の44床を休床することを決定したところですが、再稼働するためには看護師の増員が20人程度必要と考えています。

現在の経営計画は、28年度に策定したもので、2年間は医療収益を2億円ずつ伸ばしましたが、30年度の収支は計画値を下回る見込みであり、赤字脱却に向けた効果的なプログラムとはなりません。31年度、市は行財政改革推進の一環として専門知識を有した

コンサルタント会社を活用し、病院の経営診断、経営計画の見直しを考えています。

児童虐待について

【質問】 平成29年の警察庁の公表によると、虐待の疑いのある児童が8万人以上となる最悪な事態となっている。本市の児童虐待の現状と効果的な取り組みについて伺う。

【答弁】 厚生労働省発表の児童相談所での児童虐待対応件数は13万件を超え、年々増加傾向にあります。

本市では、29年度で虐待ではないかという相談件数が56件で、その後、調査・聞き取りを行った結果、虐待として取り扱われた件数は6件となり、児童相談所で一時保護となったところです。

平成16年度の児童福祉法改正により、市町村の業務として子ども家庭相談に応じることが明確に規定され、子どもだけではなく、保護者も含めて支えることで予防につなげたいと考えています。また、要保護児童等対策連絡協議会を設置し、関係機関とのネットワークを構じて相談や支援が途切れないように取り組んでいます。



日本共産党
清水 雅人

議員報酬増について

【質問】 平成30年10月、議員定数を2人削減する条例が、賛成10対反対7で可決された。当日夕方、NHKが報道したほか、北海道新聞社は社説で、「滝川市議会が議員のなり手確保策として報酬の引き上げを目指し、定数の削減を決めた。定数を減らした分の報酬を残りの議員に上乘せする方針」と報道した。議員の報酬は、市長が審議会に諮問するかどうかによる。市長の基本姿勢を伺う。

【答弁】 統一地方選挙を目前にした段階で、選挙後の議員報酬額について、仮定の中で述べる立場ではないと考えています。

【質問】 想定外の答弁。社説などで、余剰分は議員報酬に振り分ける考えだという報道を市民は見ている。市長はどう考えるか。

【答弁】 報道は承知しています。二元代表制なので、議会で決めたことは尊重します。現在まで審議会

への諮問はしておりません。

【質問】 そこが重要。市長は、なぜ諮問しなかったのか。余剰分を回し報酬を上げることは、おかしいと考えて諮問しなかったのか。それとも選挙前に時間がないので諮問をしなかったのか。その他か。

【答弁】 報酬は議員の皆さんにおいて決定し、私に要請いただくもの。私自身が報酬を上げるかどうかを判断する立場にはありません。

【質問】 報酬が低いので、議員のなり手がいないなどについて、市長はどう考えるのか。

【答弁】 報酬が低い高い、またはなり手がいない、それが金額によるかということは、判断しかねます。議員各位が市民の声を聞いて、その中で要請してほしい。

【質問】 諮問は、市長が上げる必要があると考えたり、分らないから考えてほしいと諮問するもの。市長がこう考えるということがなくて、議員から要請があれば諮問するという立場か。

【答弁】 議員の皆さんが決めて要請があれば、私の考えも持ちながら、審議会の皆さんに諮問したいと考えています。